

身近なテーマでの議論について

議題のテーマ：教育環境

- ・ 外国につながる児童生徒への支援
- ・ 読書活動



議論していただきたいこと

議論のテーマ「教育環境」に沿って、活発な議論を行っていただきますようお願いいたします。

※議論の参考に、以下の資料をご覧ください。

教育の振興には、学校・家庭・市民・地域団体・NPO・企業と、教育委員会事務局・区役所などがそれぞれの役割と責任を自覚し、互いの信頼を基盤として連携協力し、教育活動に取り組むことが大切です。

それぞれのお立場や経験に基づき、下記を参考にしてお気づきの点やご意見などを議論いただきますようお願いいたします。

「外国につながる児童生徒への支援」について

- (例)
- ・「外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業」の実施内容の提案（定員、時間等）
 - ・「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業」の実施内容の提案（活動条件等）
 - ・身近にいる外国につながる児童生徒とのかかわりについて

「読書活動の取組」について

- (例)
- ・年間目標読了冊数の基準について
 - ・中学生への取組内容について
 - ・「読書カード」や「よみきかせカード」について
 - ・読書活動に積極的に取組んでもらうためのアイデアについて

「外国につながる児童生徒への支援」について



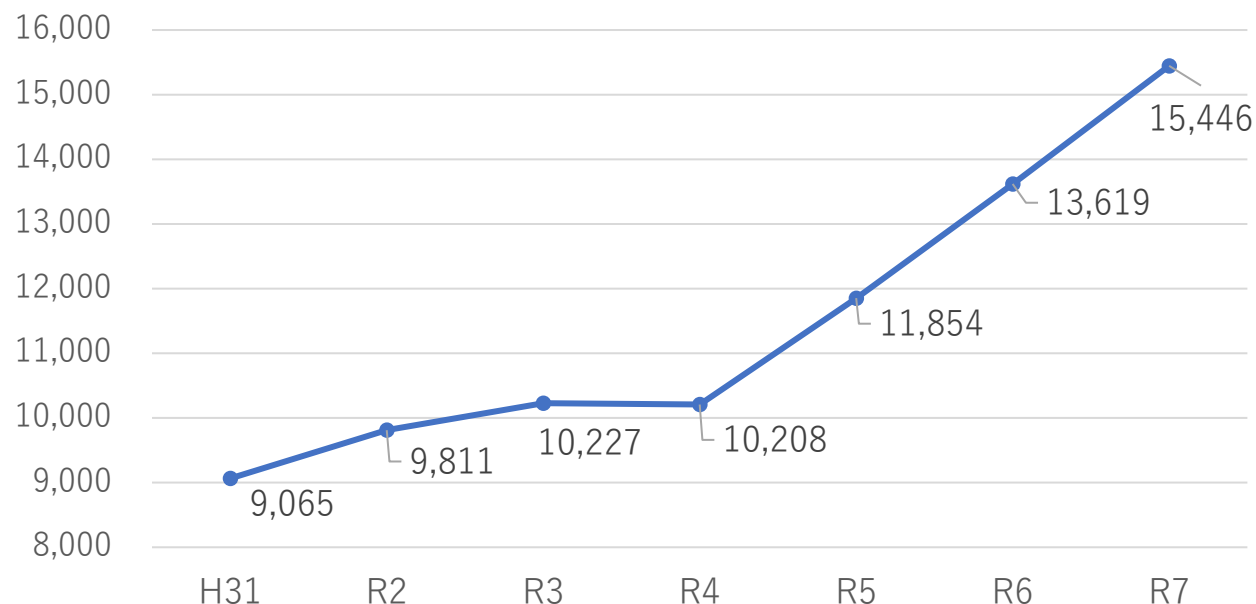
「外国人児童生徒」と「外国につながる児童生徒」の違いに関して

※日本国籍を取得した人や戦前・戦後に日本に引きあげてきた人、親が外国籍である子ども、海外から帰国した子どもなど、国籍は日本であっても外国籍の人と同様の課題を抱えていることから、これらの人々も視野に入れ、「外国につながる市民」「外国につながる児童生徒」という呼称を使用しています。

※「大阪市多文化共生指針（令和2年12月策定、令和6年11月一部改訂）」より抜粋

「西成区外国人住民の状況」について

【西成区外国人住民数の推移(各年3月末日現在)[人]】



【区別外国人住民数(R7.3.31現在)[人]】

	区 名	外国人人口	(対人口割合)
1	生野区	29,646	23.4%
2	西成区	15,446	14.8%
3	浪速区	13,470	16.9%
4	中央区	12,994	10.9%
5	淀川区	10,859	5.9%

- ・西成区では、近年外国人住民数が増加し、令和7年3月末現在15,446人で、西成区内の住民基本台帳人口に占める割合は14.8%となっています。また、市内24区でも外国人住民数が2番目に多く、多国籍化が進んでいます。
- ・さらに、平成31年3月から令和7年3月までの間に外国人住民数は約1.7倍に増加しており、この傾向は現在も続いています。この増加は地域の多様性や文化的な活力を示しており、今後も国際化が進展することが予想されます。

「外国人児童生徒の状況」について

【大阪市立小中学校に在籍する外国人児童生徒数の推移[人]】

年度		R1	R2	R3	R4	R5	R6
合計		3,428	3,578	3,796	4,007	4,404	5,350
国・地域別	中国	1,477	1,675	1,927	2,086	2,487	3,228
	韓国・朝鮮	1,293	1,175	1,103	1,043	919	892
	ベトナム	80	116	145	192	240	362
	ネパール	60	77	122	159	214	265
	フィリピン	214	213	203	212	223	240
	ペルー	52	61	59	45	48	45
	アメリカ	22	29	21	21	24	44
	ブラジル	42	50	43	35	40	34
	台湾	25	18	24	27	26	32
	モンゴル	16	18	15	21	20	26
	インドネシア	13	16	20	22	19	17
	インド	7	5	10	11	11	16
	タイ	25	26	25	18	13	14
	ナイジェリア	6	4	2	2	7	10
	ロシア	10	4	7	4	5	6
	ウクライナ	3	2	2	4	11	5
	その他	83	89	68	105	97	114

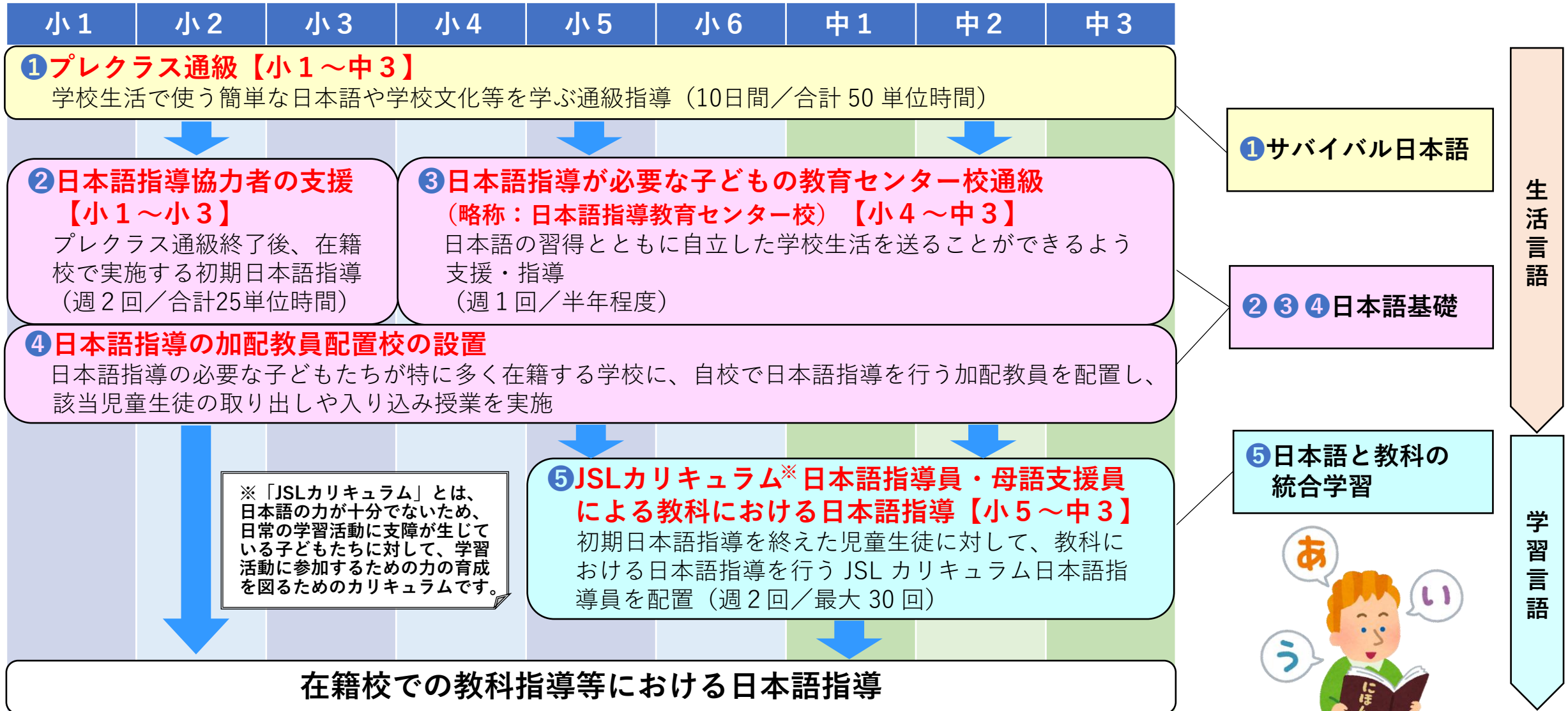
【西成区内小中学校児童生徒数(R7. 5. 1現在)[人]】

	生徒数	日本人	外国人
小学校	2,424	2,196	228
中学校	1,312	1,212	100
合 計	3,736	3,408	328

- ・ 令和 6 年度の大阪市立小中学校に在籍する外国人児童生徒数は5,350人で前年度から946名増えており、令和元年度に中国籍の児童生徒数が韓国・朝鮮籍の児童生徒数を逆転して以降も増加し続けています。
- ・ 西成区では、令和 7 年 5 月 1 日度時点において、西成区内の外国人児童生徒数は328人(小学校228人・中学校100人)となっており、全児童生徒数の約8.8%を占めています。また、外国人児童生徒のうち、中国籍の割合は約 7 割を占めています。

大阪市の「外国につながる児童生徒への支援」について

大阪市では、外国につながる児童生徒に対して、「日本語指導・適応指導」及び「母語・母文化を保障」するための取組を行うとともに、多様な価値観や文化をもつ子ども同士が相互に高め合う多文化共生教育を推進しています。



※令和7年度より学習者用端末にAI(機械)翻訳を導入（※外国から編・転入してから1年間使用可能）

西成区の「外国につながる児童生徒への支援」について

西成区では、外国につながる児童生徒に対して、次の支援を行っています。

①「外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業」(令和7年度予算額 9,050千円)

実施目的 日本語で日常会話はできるが、学力に課題がある児童生徒を対象に、母国の学校では教わっていない内容や、日本語習得中に授業を受けたため十分に理解できていなかった内容などの補習を行うために放課後学習を実施し、教科学習を通した日本語指導を行うことにより、学習に使う日本語（学習言語）の定着と学力の向上を図る。

対象者等 区内の小・中学校に在学する小学校4年生～中学校3年生（定員：36名）

実施内容 児童生徒1～3名に対して講師を1名配置し、「やさしい日本語」を用いて、個別の学習指導を行う。

受講時間 小学生100時間、中学生150時間

実施場所 岸里小学校（水曜日・金曜日）
鶴見橋中学校（火曜日・木曜日）

受講者数 【令和7年6月末時点】
27名（小学生20名・中学生7名）



(令和7年5月 鶴見橋中学校教室の学習風景)

2 「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業」 (令和7年度予算額 2,114千円)

実施目的 外国につながる児童生徒の学校生活への支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

実施内容 区内の小・中学校において、学校生活において日本の生活習慣等に慣れていない外国につながる児童生徒に対して支援を行うサポーター（有償ボランティア）をホームページ等で募集し、希望する小・中学校に配置する。

活動条件 【報償金】

- ・ 1時間あたり1,200円
- ・ 交通費支給（上限：1,500円）

【活動時間】

- ・ 平日の8時～17時の間で、学校と調整の上決定

配置数等 【令和7年6月末時点】

- ・ 小学校6校：サポーター12名
- ・ 中学校5校：サポーター5名

にしなにく しやうちゆうがっこう
西成区「小中学校サポーター」

きこく らいにちとう
帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター

**がいこく 外国から 日本に きた 子どもを
サポートする 人を さがして います**

にしなにく しやうがっこう ちゆうがっこう がいこく にほん き こ
西成区の 小学校・中学校で 外国から 日本に きた 子どもが
がっこう な てつだ ひと
学校に 慣れるための 手伝いを する 人を さがして います。

お手伝いの なかみ

✓ 外国から 日本に きた 子どもが 日本の 学校に 慣れるための
サポート
(例) 勉強の 手伝い、遠足の 付き添い など

学校が 来てほしい 人

✓ 外国から 日本に きた 子どもについて 理解と 知識が ある人
✓ 日本語と 外国語で、話が できる人

条件

□ お礼 1時間あたり 1,200円、(交通費も できます)

□ 時間 平日の 8時から 17時までの 間で、
学校と 話し合っ て 決めます

□ 活動場所 西成区内の 大阪市立小学校・中学校

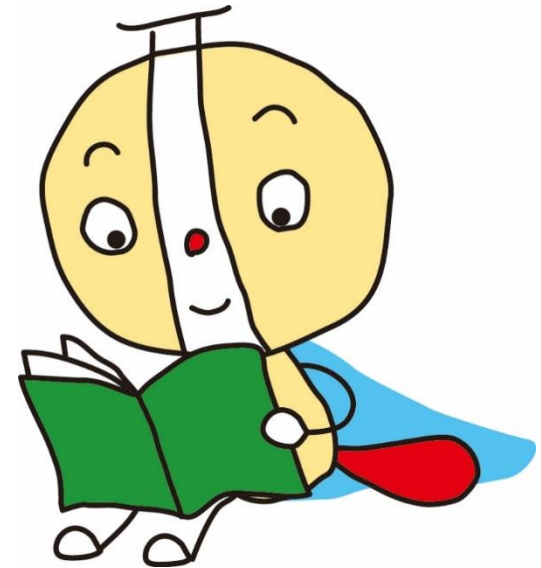
くわ にしなにく
詳しくは 西成区
ホームページを 見てください

【お問合せ】西成区役所保健福祉課
(子育て支援担当)
電話(でんわ): 06-6659-9824
メール: tx0010@city.osaka.lg.jp

にしなにくやくしよ ほけんふくしか
西成区役所保健福祉課
しえん たんとく
こもだ

「読書活動の取組」について

- ・読書は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで、欠くことのできないものです。
- ・テレビ、スマートフォン、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や、子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。
- ・西成区では、読書を行うきっかけづくりのための取組を行っています。



「こどもの読書活動推進支援事業」等について

取組内容【区内小・中学生】

(令和7年度予算額 390千円)

読書を行うきっかけづくりとして、目標を達成した児童生徒に賞状を贈呈する。

【年間目標読了冊数】

区分	冊数	区分	冊数
小学校1年・2年	100	小学校3年・4年	70
小学校5年・6年	50	中学校1年～3年	25



- ・読了後、当区から配付している読書カード等に本のタイトルなどを記入する。
- ・年間目標を達成した児童生徒、学校長からの推薦のあった児童生徒（読了冊数に関わらず読書の取組み内容の評価が高かった児童生徒）に賞状を贈呈。
- ・最多読書賞の児童生徒に表彰状・記念品（額縁・ミニボトル）を贈呈。※各区分ごとに1名ずつ計4名。
- ・ふりかえりシート（感想文）を提出した児童生徒に参加賞（クリアファイル・ボールペン・消しゴム）を贈呈。
- ・学校で区長からの直接表彰。（希望する学校）

取組内容【未就学児】※西成区内の公立保育所及び公立幼稚園について令和7年度から開始

読書に親しんでもらうきっかけづくりとして、家庭で読み聞かせを行った未就学児と保護者に賞状を贈呈する。

- ・読み聞かせ後、当区から配付しているえほんよみきかせカードにシールを貼り、20枚全てのシールを貼り終えた未就学児と保護者に賞状と参加賞を贈呈。
- ・保育所・幼稚園で区長表彰。（希望する保育所・幼稚園）

目標達成状況

【令和6年度こどもの読書活動推進支援事業達成者数[人]】

学年 (在籍者数)	冊数での 目標達成	学校長から の推薦
小1 (378人)	36人	7人
小2 (383人)	34人	5人
小3 (419人)	59人	7人
小4 (425人)	44人	11人
小5 (437人)	69人	6人
小6 (461人)	47人	7人
合計 (2,503人)	289人	43人

学年 (在籍者数)	冊数での 目標達成	学校長から の推薦
中1 (419人)	7人	0人
中2 (447人)	21人	0人
中3 (474人)	3人	0人
合計 (1,340人)	31人	0人

- ・ 目標読了冊数を達成している児童生徒等は全児童生徒数の約8%となっている。
- ・ 特に中学生の目標達成者数は約2%であり読書活動への関心が低いことが分かる。

読書の頻度について（令和5年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査より）

学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書しますか？という設問で「**全くしない**」と回答した割合

	大阪市	全国平均
小学生	30.5%	24.5%
中学生	48.4%	36.8%